

Abstract: 意思決定の選択肢が対立仮説の 1 通りである問題を検定問題と呼ぶのに対し、より一般に選択肢が 1 つ以上ある問題を決定問題と呼ぶ。複数の検定問題を同時に扱う多重検定では FDR（偽発見率）を制御する多くの方法論が提案されているが、複数の決定問題を同時に扱う多重決定では FDR の定義すら自明でなく、特に選択肢が 3 つ以上ある場合に FDR を制御する方法はまだ分かっていない。本報告では、一般の多重決定における FDR を定義し、FDR を制御しながら意思決定をする方法論を提案する。最後に、提案手法を BMI の分類問題に応用した例を紹介する。